

帯人大谷短期大学 各学科・専攻の学習成果について

本学は真宗大谷派親鸞聖人の精神を「建学の精神」としている。いのちの大切さをその旨としているが、とりわけ自らが生きていることの喜びを感じることを、さらには自分のいのちと同様に他者のいのちの重要性を学生の学びの要に据えている。

したがって、本学を卒業する為に必須であるのは、他者との共生をいかに成し得るのかにその眼目が置かれることとなる。

地域社会を自らが中心となって活性化することは時代を担う若者の役割であるが、とりわけ他者との関わりのなかでそれを達成することに本学で学ぶ大きな意義があり、またこの二年間の大きな学びの成果となる。

この「建学の精神」と本学の教育意義に則って以下のように各学科・専攻において学習成果を定める。

●地域教養学科学習成果

地域教養学科では、「建学の精神」および地域教養学科の「人材の養成及びその他の教育研究上の目的」に即し、以下の5点の汎用的学習成果を設定する。

【汎用的学習成果】

1. 地域の人々から信頼され愛されるような人間性を持つ
2. 地域を知り、地域に貢献する意欲を持つ
3. 地域を生かすことについての豊富な知識を持つ
4. 多種多様の力を総合し、使うことのできる視野の広さを持つ
5. 地域に貢献しうる技術と表現力を身につける

また、地域から必要とされる学芸員・社会教育主事・図書館司書の育成を目指すところから以下の2点の専門的学習成果を設定する。

【専門的学習成果】

1. それぞれの分野における専門的な知識と技術を身につける
2. 地域を知り、地域に貢献する意欲を持ち、地域を生かす方策を探る技術と知識を持つ

●生活科学科栄養士課程学習成果

生活科学科では建学の精神のもと、科学的に真理を探究し、いのちを大切に作る心もち、職業的にも自立した人間として自ら成長していく向上心を持つ栄養士の養成を目的に、以下の学習成果を設定する。

1. 栄養に携わる者に必要な専門知識・技術を習得することができる。
2. 健康や生命を預かるうえでの栄養管理、衛生管理を行う者として、責任や自覚を身に付け、主体的に考え行動することができる。
3. 豊かな人間性と社会人として必要なコミュニケーション能力を身につけ、他者と協働することができる。
4. 栄養・健康などに関する知識や技術を生涯学び続けることができる。
5. 食を通して地域貢献ができる。

●社会福祉科子ども福祉専攻学習成果

社会福祉科子ども福祉専攻では、「建学の精神」および社会福祉科子ども福祉専攻の「人材の養成及びその他の教育研究上の目的」に即し、以下の学習成果を設定する。

【汎用的学習成果】

1. 一人ひとりの違いを大切に受け止めながら他者と「共に生きる」生き方について理解する。
2. 総合的な思考力、表現力を身につけ、それらを活用しながら成長を目指す意識を持つ。

【専門的学習成果】

1. 子ども家庭福祉、保育、幼児教育に関する基本的な理論や知識を身につける。
2. 子どもの心身の健康な発達に関する理論や知識をもとに、子どもの発達に合わせた適切な接し方や援助方法を選ぶことができる。
3. 保育内容とその指導法についての基礎的な知識を習得し、遊びなどの具体的な活動を計画し、実施することができる。

教材を研究し、子どもの姿に合わせて活動を工夫しようとする姿勢をもつ。

●社会福祉科介護福祉専攻学習成果

社会福祉科介護福祉専攻では、「建学の精神」および「人材の養成及びその他の教育研究上の目的」、厚生労働省より提示されている「求められる介護福祉士像」「資格取得時の到達目標」に即し、地域社会に貢献する社会人となることを学習成果とし、以下のとおり専門的学習成果と汎用的学習成果を設定する。

【専門的学習成果】

1. 高齢者及び障がい者、その家族の生活課題に対するケアの実践において、高い倫理性を持ち、尊厳を保持し自立支援に向けたケアを計画的に実践・評価できる実践力が身につく。また、介護福祉専門職として各自の介護観を明確にし明言できる。
2. 地域の福祉的課題解決や地域共生社会における介護福祉専門職の役割について、幅広く福祉・保健・医療に対する理解や見識を持った上で考えることができる。また、多職種協働によるチームケアの必要性についても考えることができる。
3. 介護福祉に関連する現場における中核的な役割を担う介護福祉専門職としての誇りと責任を持ち、研鑽し続ける態度が身につく。

【汎用的学習成果】

1. 多様な価値観や文化を持つ他者に誠実な関心を寄せ、相手の立場に立って理解した上で思考し、主体性・協調性を持って行動することができる。
2. 地域・社会の事象に幅広く関心を持ち、多角的な視点で思考し、主体性・協調性を持って行動することができる。